

やまぐち 市議会だより

3 6
9月
定例会 12

NO.73

定例会特集	2
議案の審議結果	5
委員会ア・ラ・カルト	6
市長に聞きたい!	8
議会からのお知らせ	15

山口南部の風土を

体感!



2024年
9/9～10/10

上程された議案

予算

5件

条例

13件

事件議決

15件

決算認定

14件

諮問

5件

委員会提出

1件

上下水道料金等を改定

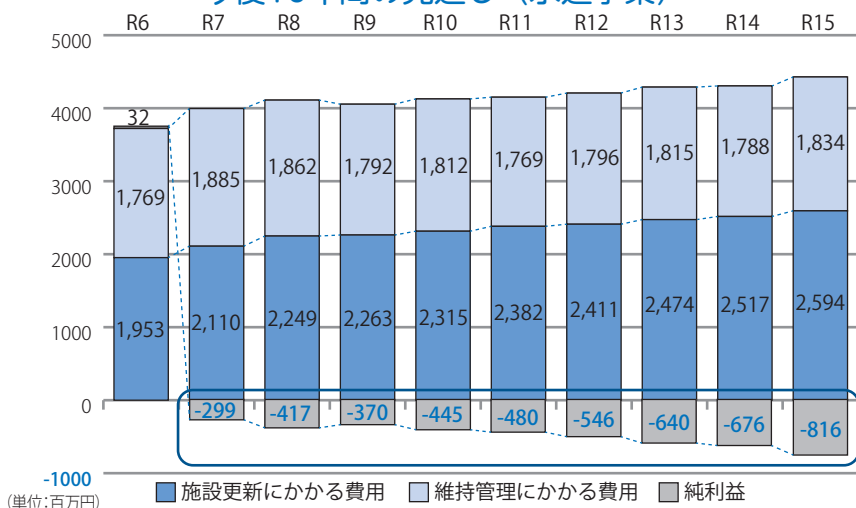
～なぜ料金等の上げが必要なのか～

令和6年9月定例会では、上下水道料金等の引上げに関する議案が提出されました。

料金等については、節水機器の普及や人口減少による有収水量の減少に伴う収入の減少と、電気料金や物価の高騰、施設の老朽化に伴う更新費用の高まりによる支出の増加に伴い、令和7年度には水道事業（上水）は2億9900万円、公共下水道事業は2億7400万円の赤字が想定されます。この数年、経費の節減などの経営努力によつて、料金等の引上げをすることなく上下水道事業を運営してきたものの、基本的には独立採算制ということもあり、今後も安全安心な上下水道事業を維持するため、今回の引上げに踏み切ったと説明がありました。

※有収水量：料金徴収の対象となった水の量

今後10年間の見通し（水道事業）



※令和7年度から損益は赤字となる見込みです。
※損益の赤字は拡大し、解消する見込みはありません。



【議員からの意見】

- 節水意識に拍車がかかることが予想される。水は、健康管理や猛暑による熱中症対策に欠かせないものである。必要以上の過度な節水にならないよう気をつけ、無駄なく使用するという雰囲気づくりが必要ではないか。
- 物価高騰の折に水道料金等を引き上げることは、市民の生活を脅かす。暮らしを応援する負担軽減策も同時に講じるべき。
- 水道料金等の引上げは、水道事業を維持するためには仕方ないものの、低所得者層や年金暮らしの高齢者などへの支援をするべき。

持続可能で
安全安心な

上下水道を維持
するために

料金等の引上げ率と引上げ時期

水道料金、簡易水道料金は15%程度、下水道使用料は12%程度の引上げとなり、一般的な家庭の場合、1か月で500円程度引き上げられることになります。

令和7年4月から改正条例が施行されるものの、経過措置により5月請求分までは従来どおりの料金となり、6月請求分から新料金が適用されます。

なお、農業集落排水、漁業集落排水（農業集落や漁業集落におられる方が主に利用）使用料は、4月利用分から新料金での料金を御負担いただくこととなります。

上下水道料金等の改定について、さらに詳しく知りたい方は、市報11月15日号をご覧ください。



農林漁業分野への対応

このたびは多くの議員が農林漁業分野に関する質問を行った。「令和の米騒動」の流通問題、農林漁業の就業者問題、農業用水路の整備や小規模農家への支援、「農山村エリア居住促進計画」や「山口農業振興地域整備計画」など農山村地域の様々な計画、農業者への助成金制度の創設などについて、市の取組への提案を行った。市からは、流通不安の原因の研究や市内産農産物の循環の必要性、スマート農業の導入支援や、水路や農業用機械の助成金制度などの状況について説明があった。



また、8月には市民団体から山口県農業試験場跡地利用について、「農業公園」の提案・要望が提出された。こうした市民の関心の高まりを受けて、方向性、考え方などについても質問を行った。

※**農業公園** 農業振興を図る交流拠点として生産・普及・展示機能、農業体験機能、レジャー・レクリエーション機能等を有し、農業への理解の増進や人材の確保育成を図るための公園

9月定例会

ピックアップ pick up

防災・減災対策 ～安全安心なまちづくり～

8月8日の日向灘での地震発生に伴い、初めて南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）が発表されたことを受け、防災・減災対策について多くの議論を交わした。

問）地震はいつ起こるか分からない。大規模地震が起こった場合の市の体制はどうなっているか。

答）「山口市地域防災計画」において、地震の規模に応じた体制や職員の参集基準、配備部署をあらかじめ明確にしているとともに、計画の実効性を高めるために、職員を対象とした図上訓練と、地域住民にも参加いただく実動訓練を毎年実施している。

問）安心して避難できる避難所の運営や環境整備が求められている。本市の避難所の状況は？

答）プライバシーを確保するための間仕切りや、衛生環境を保つための簡易トイレ、エコノミークラス症候群を防ぐための簡易ベッド、障がいのある方や介護が必要な方の多目的簡易ベッドや、女性のニーズに合わせた更衣室となるテント、乳幼児のためのおむつなど、様々なニーズに対応した物資も併せて備蓄を進めている。



9月定例会

ピックアップ pick up

観光政策について

本年1月、ニューヨーク・タイムズ紙の「2024年に行くべき52カ所」に選出された本市は、11月にはスイス観光賞を受賞することが決定している。このことから、多くの議員が観光政策について取り上げた。

まず、ホノルル市との友好都市提携での波及効果について質問を行い、青少年の教育交流やスポーツ、観光、経済などの交流を予定しているとの答弁があった。他の議員からは、当初の予算審査での具体的な説明がなく、提携に向けて活動されていた1年以上の間、経過報告もなかったことから、今後は議会だけでなく市民の理解を得ながら取組を進めていく必要があるとの指摘も行った。

次に、湯田温泉こんこんパークについては、にぎわい創出やシビックプライドの醸成に向けた若者が主体となって行う取組や、定住人口の増加や交流人口の拡大に向けての活用について質問した。答弁では、大規模イベントやMICE（国際会議や展示会など）の誘致にも取り組み、観光客の増加と経済効果を高めていく旨の説明があった。



議会で厳しく
チェックしました



「第二次山口市総合計画後期基本計画」の初年度となる令和5年度の決算について、9月20日に追加議案（一般会計・特別会計）が提出され、予算決算委員会で総括的な審査を行いました。あわせて、過去に議会が指摘した事項等が、令和5年度の取組にどのように反映され、事業を執行されたのか、その成果や課題について、概要説明がありました。

その後、各予算決算委員会分科会で詳細な審査を行った結果、全会一致で認定しました。

このたび指摘した内容が、これからの取組や予算編成に生かされるよう今後も議会で厳しく審査してまいります。

決算額等の詳しい内容は、「市報やまぐち11月1日号」をご覧ください。



市公式ウェブサイト

議会からの指摘！

適切な予算執行を！

- 不用額^{*}の発生が散見されたため、予算執行の際には、執行の状況を的確に把握し、精査の上、減額補正を行うなど適正な予算執行に努め、社会情勢や状況によっては柔軟な対応を行うなど、必要な事業については積極的に取り組んでいただきたい。また、予算編成時には、前年度の実績や当該年度の執行状況等を踏まえ、十分精査した上で積算されたい。不用額の抑制と必要な事業の推進の両立を図ることを求める。

^{*} 不用額 歳出予算の経費の金額のうち、結果として使用する必要がなくなった額で、当該年度の歳出予算現額から支出済歳出額及び翌年度への繰越額を控除した残額。

成果向上につながる事業周知を！

- 行政課題の解決につながる事業が展開されているが、申請に基づいて補助する事業についての周知が効果的に行われていないために、申請者数が伸びないなど成果の向上に結びついていないと思われるものが確認された。戦略的な事業の周知に取り組むことで、各種事業への参加や申請等を促し、成果の向上につなげていくことを求める。

事業評価の精度向上を！

- 市のまちづくりがどのように進められているのかを確認する主要な施策の成果報告書について、適切な指標が設定されていないために、成果が正しく評価されていないと思われるものが確認された。事業の振り返りにこれまで以上に注力し、事務事業を正しく評価できるよう現状に見合った指標に適宜見直すなど、翌年度以降のよりよい予算編成につなげられる資料としていただくよう求める。
- 山口市まちづくりアンケートに基づく施策別評価の中で、重要度が高く市民の満足度が低い施策については、地域、年齢、職業などを含め、満足度が低い要因を分析し、次年度以降の施策展開につなげていただくことを求める。

水道、下水道事業の持続可能な経営を！

- 安定した経営に努め、施設の更新等を計画的に進められている。物価高騰や人口減少により、今後更に厳しい経営環境に向かうことが予測されるため、営業外収益等の収入の確保策を研究され、今後も経営戦略に基づき持続可能な経営に取り組まれるよう求める。

議案の審議結果

■ 全員賛成で可決した議案

予算

- 令和6年度山口市一般会計補正予算（第4号）
- 令和6年度山口市介護保険特別会計補正予算（第1号）
- 令和6年度山口市鑄銭司第二団地整備事業特別会計補正予算（第1号）
- 令和6年度山口市地域下水道事業特別会計補正予算（第1号）
- 令和6年度山口市一般会計補正予算（第5号）

条例

- 山口市子ども・子育て会議設置条例の一部を改正する条例
- 山口市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
- 山口市地域包括支援センターにおける包括的支援事業の実施に必要なものに関する基準を定める条例及び山口市指定介護予防支援等の事業者の資格並びに事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
- 山口市国民健康保険条例の一部を改正する条例
- 国民宿舎秋穂荘設置及び管理条例の一部を改正する条例
- 山口市特別用途地区建築規制条例の一部を改正する条例

事件議決

- 秋穂漁港海岸（大海地区）海岸保全施設整備工事の請負契約の締結について
- 湯田中学校特別教室棟長寿命化改良工事の請負契約の締結について
- 鑄銭司第二団地用地の売払いについて
- 新本庁舎ネットワーク機器の取得について
- 山口市新本庁舎移動式ハンドル書架の取得について
- 水槽付消防ポンプ自動車の取得について
- はしご付消防自動車の取得について
- 山口市立小中学校校務用コンピュータ等の取得について
- 山口市不燃物中間処理センター定期整備用部品の取得について（追認）（3件）
- 小学校教師用教科書・指導書の取得について（追認）（2件）

- 中学校教師用教科書・指導書の取得について（追認）
- 令和6年度山口市一般会計補正予算（第3号）に関する専決処分について

決算認定

- 令和5年度山口市水道事業会計決算の認定について
- 令和5年度山口市簡易水道事業会計利益の処分及び決算の認定について
- 令和5年度山口市公共下水道事業会計決算の認定について
- 令和5年度山口市農業集落排水事業会計利益の処分及び決算の認定について
- 令和5年度山口市漁業集落排水事業会計利益の処分及び決算の認定について
- 令和5年度山口市一般会計歳入歳出決算の認定について
- 令和5年度山口市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について
- 令和5年度山口市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について
- 令和5年度山口市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について
- 令和5年度山口市介護サービス事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 令和5年度山口市鑄銭司第二団地整備事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 令和5年度山口市地域下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 令和5年度山口市国民宿舎特別会計歳入歳出決算の認定について
- 令和5年度山口市特別林野特別会計歳入歳出決算の認定について

諮問

- 人権擁護委員の候補者の推薦について（5件）（敬称略）
 - ・ 徳万孝治（再任）
 - ・ 永野菜穂美（再任）
 - ・ 國重雅子（再任）
 - ・ 岡 由美子（新任）
 - ・ 椿 信善（再任）

委員会提出

- 山口市議会の議員の議員報酬及び非常勤の職員の報酬並びに費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

■ 賛否が分かれた議案と審議結果（○は賛成、×は反対）

議 案		審議結果	未来志行山口	やまぐち有隣会	県都創生山口	公明党	高志会	市民クラブ	日本共産党	地域政党やまぐちの風
条 例	山口市特別職の給与の特例に関する条例に対する修正案	否決	×	×	×	×	○	×	×	×
	山口市特別職の給与の特例に関する条例	可決	○	○	○	○	×	○	○	○
	山口市地域下水道条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	×	○
	山口市水道事業給水条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	×	○
	山口市阿東簡易水道事業給水条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	×	○
	山口市下水道条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	×	○
	山口市農業集落排水処理施設管理条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	×	○
	山口市漁業集落排水処理施設管理条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	×	○

山口市議会では、「総務」「教育」「民生」「生活環境」「農林建設」「予算決算」の常任委員会を設置し、各委員会が所管する部局の議案や業務等の審査・チェックをしています。

各委員会の所属議員、所管する部局、日程など、詳しくは市議会ウェブサイトに掲載しています。



ワークステーションをステップに さらなる障がい者の活躍促進

市役所の障がい者雇用である「ワークステーション」は、新本庁舎の整備に伴い、スペース拡充等の職場環境の充実を図ることとしている。また、職員の中には、ワークステーションの業務で培ったスキルをもとに、市の他部局や市役所外で勤務する例も出てきている。引き続き、市の戦力として活躍してもらうとともに、さらなるステップアップの機会につながるよう展開していきたい。（担当部局：総務部）

委員の意見

・業務経験が次のステージに生かせるよう、さらに取り組んでいただきたい。

総務
委員会



林野火災における連携した 消火活動

本年9月に秋穂二島地域で発生した林野火災について報告があった。消火活動にあたっては、多数の消防職員・団員による活動やドローンによる状況確認などを実施したほか、県消防防災ヘリコプターの要請、県を通じた陸上・航空自衛隊への派遣要請を行うなど、関係機関と連携し、消火に向けて総力を挙げて対応した。あわせて、市の他部局と連携し、避難所を開設するとともに、一部の地域に避難指示を発令し、近隣住民の安全確保を行った。なお、本火災による民家等への被害や死傷者は発生していないものの、この度のような大規模火災に対しては、引き続き各関係機関との連携を図り、対応に努めていきたい。（担当部局：消防本部）



消火活動の様子

総務
委員会



山口情報芸術センターYCAM、 収益性向上のための取組を

YCAMが収益手段を得ることについては非常に大切なことであると考えている。その方法としては、以前話があった山口市文化振興財団を一般社団法人化するといった手段ではなく、公益財団法人の枠組みのまま、民間企業との連携や巡回作品の展示において収益を上げていく等、多方面からの収益化の手段を検討していきたいと考えている。現在、山口市文化振興財団とも協議を行っている。（担当部局：交流創造部）

委員の意見

・長期にわたり協議をされているが、進展が見えない。今年度中には一定の結論を出せるようにしっかりと取組を進めていただくよう要望する。

生活環境
委員会



産業交流スペース「メグリバ」の 成果向上のために

本施設は、起業創業支援や、事業者の出会いにより新たな事業を生み出すというプラットフォームの役割を担うとともに、若者への起業家教育の活動に取り組んでいる。令和5年度から、イベントを多数行い、施設の認知度の向上を図るだけでなく、セミナーの内容をより充実させることに重点を置いた取組を進めている。また、今年度から新たに、情報発信スキルを身につけるためのメグリバマーケティングスタジオの設置や、より専門的な支援が可能となる相談体制の強化に取り組む、施設機能の充実を図っている。（担当部局：商工振興部）



委員の意見

・令和5年度の実績を見ると、セミナー・イベント開催数の半減や、新規起業家数が5件にとどまっているなど、費用対効果の視点から評価すると、成果は低調と言わざるを得ない。

生活環境
委員会



子育て世帯に対する 物価高騰等に対応した経済対策

令和5年度に実施した物価高騰等に対応した経済対策の取組の一環として、食料費が値上がりする中においても、保護者に給食費の追加負担を生じさせることなく、給食の内容を維持することができた。

また、低所得の子育て世帯への子ども1人当たり5万円の給付や、本市独自の支援として、子ども1人当たり一律1万円分の市内取扱店で使用できる商品券の配布を行うなど、その時々々の局面に応じたかたちで子育て世帯に対する経済対策に取り組んだ。

(担当部局…子ども未来部・教育委員会事務局)

委員の意見

・今年度も経済対策に努めていることを評価する。引き続き、子育てに関する経済的負担の軽減に取り組む、子育て世帯から選ばれるまちづくりを進めてほしい。

教育民生
委員会



家族でやま学の日が開始

山口県内の公立学校に通う子どもたちが、休業日以外に家族とともに、校外で体験や探求の活動を行える日である「家族でやま学の日」が本年6月に創設され、本市の小・中学校でも10月1日から開始された。

1年度に取得できる日数は3日とし、児童・生徒の保護者は、取得しようとする日の2週間前までに学校へ申請する。また、取得した児童・生徒は出席停止等と同じ扱いとし、取得により受けることができなかった授業の学習内容は、原則、家庭学習で補うこととしている。また、運動会等の学校行事がある日やテストの実施日等は、取得できない日としている。

今後いろいろな課題が出てくることも想定されるが、他市町と連携しながら、よりよい「家族でやま学の日」の在り方について調査研究していきたい。

(担当部局…教育委員会事務局)

委員の意見

・家族でやま学の日を、取得できる家庭とできない家庭が生じることが想定されるため、子どもたちに差が生じないように配慮しながら進めてほしい。

教育民生
委員会



上下水道料金改定を どのように周知するか

これまでの経営状況と決算を踏まえた今後の見通しに基づく財政シミュレーションから、水道事業及び公共下水道事業は損益が赤字となり、加えて今後10年においても、この赤字が解消される見通しが立たないことから、料金改定の判断に至った。利用者への周知については、市報や上下水道局のウェブサイトによる広報に加え、水道メーター検針の際に、各家庭へチラシをポスティングする等、丁寧な説明に取り組んでいく。

(担当部局…上下水道局)

農林建設
委員会



公共交通の利用促進につながる 取組は

山口商工会議所と連携して、10月から公共交通モニター調査を実施している。会員事業所の従業員に2カ月間にわたり、日常の生活の中で公共交通を活用していただき、モニター体験の前後に行うアンケート等を踏まえ、公共交通の利用促進に向けた課題の把握に取り組むこととしている。また、観光ツアー等との連携や、イベントの際に公共交通を利用した来場者に特典を付与する取組など、今後も、部局横断的に公共交通の利用促進に努めたい。

(担当部局…

都市整備部)



委員の意見

・様々なイベント等が開催されているため、イベント会場に公共交通でお越しいただき、公共交通の利用促進につながるよう引き続き部局横断的に連携してほしい。

農林建設
委員会



市長に聞きたい! どうなる? これからの山口市

★議員が何を質問したか読んでみましょう! ★一般質問の制限時間は質問と答弁を合わせて50分です。
★質問と答弁の映像は各議員の二次元コードから見るすることができます。
※必要な場合には二次元コードリーダーをインストールしてご覧ください。※情報の受信にかかる通信料は利用者負担となります。

防災 市民の自助を支える支援と避難所の環境整備を!

環境を整えることで、質の向上につながる。



問 南海トラフ地震に対する市民の備えは低調な状況にある。市の啓発や支援が必要と考えるがいかがか。また、避難所の質の向上や、あらゆる避難者の立場に立った運営が求められているが、安心できる避難所運営や環境整備をどのように考えるか。

答 地域の実態に即した避難シミュレーションのノウハウを活用して、地域に居住する市民の避難行動の支援を行い、防災講座・訓練を通じて防災意識を啓発することで、日頃からの備えや適切な避難行動につながるよう努めていきたい。避難所の質の向上は市町村の責務であり、ニーズに対応した運営や物資の整備を計画的に進めている。長期間でも安心して過ごすことができる環境を整えることで、質の向上につながる。



未来志行山口
米本 太郎



都市 山口県農業試験場跡地利活用の具体案を!

検討されるのと同じく、県と共に関後の動向を注視していきたい。



問 山口県農業試験場跡地の利活用について、今年10月頃、基本計画を策定予定とのこと、商工会議所などから様々な要望・意見があるが、これらの意見をどう計画に包含していくのか。また、山口大学からも、「山口ウエルビーイングパーク構想」が提案されたが、利活用における大学との連携をどう考えるか。

答 本年10月頃を予定している基本計画の策定は難しい状況にあり、今後のスケジュールは改めて検討することとなる。いただいた御意見・御要望については、様々な視点や思いがあることを十分認識の上、参考としたい。「山口ウエルビーイングパーク構想」については、山口大学において更に検討されるのと同じく、県と共に関後の動向を注視していきたい。



やまぐち有隣会
宮川 英之



交流 中学生のスポーツ振興

問 部活動の地域移行後の費用負担や、指導者の確保などの課題について伺う。

答 現時点で具体的な金額は示せないが、移行後の地域クラブの運営費用は、原則保護者負担とし、可能な限り低く抑えたい。指導者の確保については活動条件等をまとめ次第、早期に募集したい。

観光 山口市の観光振興の行方

問 大内文化まちづくり調査事業の展開と、市民や観光客が利用しやすいデジタルマップの導入について伺う。

答 多くの歴史文化資源を有する大内文化ゾーンの魅力を高めるため、大内文化まちづくり調査事業を進めている。また、観光施設や飲食店、観光ルートをスマホで確認できる電子版マップの10月運用開始に向けて準備をしている。



県都創生山口
倉増 賢治



上下水 上下水道料金の激変緩和策を！

問 この度の改定で、基本料金の水準見直しなどフレキシブルな料金体系を設定することで、使用量の少ない世帯は非常に助かるが、いかがか。

答 基本料金と従量料金の二部料金制としている。生活者を重視するよう設計された体系で、使用水量が少ないお客様のほうが負担を抑えられる仕組みとなっている。

行政の必要性 引き続きの物価高騰対策

問 しばらくは物価高が続くと予想されることから、来年度予算で一定のきめ細やかな物価高騰対策が引き続き必要と考えるが所見を伺う。

答 国の動向を注視しつつ、今後の社会情勢等を見極めながら、必要に応じて今年度における速やかな対応や、来年度当初予算での対応について、総合的に判断したい。



公明党
其原 義信
そのはら よしのぶ

上下水 上下水道料金改定に激変緩和対策は？

- その他の質問
- 補助金、交付金、負担金
- 学校給食
- 農業公園の設置



問 経営のために仕方なく水道料金を上げていくという方向が示される中で、そのことが生活に影響する世帯が見込まれる。その方たちを何とかしなければならぬ、それが山口市の責務だと思いが、令和7年度予算の中で支援することはできないか。

答 現在、令和7年度当初予算の方向性を検討しており、今後の予算編成過程では、市内全域を見渡す必要があるということ、上下水道料金等に限らず、あらゆる分野における物価水準の状況や、それに対する国の対応等を見極めた上で、暮らし全般に関する案件として、必要に応じて総合的に判断したい。

高志会
有田 敦
ありた あつし

行政 セキュリティ対策は万全か？

問 地方自治体は、法令に基づき多くの重要情報を保有しており、住民生活や社会経済活動を保護する取組が重要となっている。そのための情報セキュリティ対策の取組について伺う。また、新本庁舎のセキュリティ対策の方針についても伺う。

答 本市では、物理的・システムの的な対策、組織的な対策、職員のセキュリティ意識の向上の3つの対策を進めている。国の動向を注視し、最新の情報やセキュリティ対策の動向にも留意しながら、情報セキュリティ対策にしっかりと取り組んでいく。また、新本庁舎では、時間による条件やセキュリティレベルを勘案した施錠管理を行う。併せて、カメラによる監視を行い、市役所全体の情報セキュリティ対策に万全を期す。



市民クラブ
山見 敏雄
やまみ としお

上下水 上下水道料金・使用料の引上げは据え置きに



問 上下水道の料金や使用料を引き上げる議案が提案されている。過去最長の実質賃金低下、物価高、値上げラッシュに公共料金まで引き上げられると、暮らしの負担がますます大きくなる。一般会計からの法定外繰り出しを行い、据え置くべきではないか。

答 徹底的かつ能率的な経営努力の上で、物価高や人口減少の中、適正な原価のもと、持続可能で安全安心な上下水道事業の維持を目的に議案提出した。御理解賜りたい。

問 やむなく料金や使用料を引き上げるのなら、暮らしの負担軽減策とセットでと考えるがいかがか。

答 国の動向を注視しつつ経済情勢等も見極めながら、暮らし全般に関する案件として総合的に判断する必要がある。しっかりと検討したい。

日本共産党
大田 たける
おおた たける

都市 湯田温泉こんこんパークで若者活躍の場づくり!



昨年実施した学生主体の
クリスマスイベント

問 湯田温泉こんこんパークにおける若者が主催者となって行う取組について、市の考えを伺う。

答 若者のアイデアやチャレンジを湯田温泉の新たな賑わいにつなげることも本施設の取組の大きな柱の一つである。今年度はプレイベントとして、12月に学生主体のクリスマスマーケットの実施を協議している。こうした取組を通じて、若者のチャレンジへの支援等が若者の定住につながる可能性があることや、学生と湯田温泉との距離が縮まってきていることを実感しており、若者の自発的なチャレンジ等を支え、実現できる仕組みづくりを進めていく。



地域政党 やまぐちの風
竹中 一郎
たけなか いちろう



スポーツ 盛り上がりがある今こそスポーツ振興の充実を!

問 オリンピックやレノファ山口FCの好調など、盛り上がりがある今こそ、スポーツ振興の充実と拡大、スポーツに親しむ機会の創出などの更なる施策展開をすべきと考えるがいかがが。また、環境整備についての課題認識と今後の取組について伺う。

答 本市ゆかりのトップアスリート活躍に大きな感動と勇気をいただいた。レノファ山口FCも好調で注目が高まる中、機運を逃すことなく取組を展開していく。また、イベント実施によるスポーツの習慣化、次世代育成にもつなげていく。なお、維新百年記念公園周辺の駐車場確保や交通渋滞等の課題については、新たな駐車場の整備を県に要望しており、また、関係機関と連携して公共交通の利用促進に取り組んでいる。




未来志行山口
鳥養 祐矢
とりかい ゆうや



災害 車中泊前提! ペットとの同伴避難所が必要!



避難するニャン!

問 車中泊にも対応できる、民間施設の立体駐車場を活用した同伴避難所の全学的な展開について、本市の見解を伺う。

答 本市の避難所にはペット用品等を備えていないため、飼い主自ら用意していただいている。車中泊ではガソリンなどの燃料やトイレ、電源などの不安要素も多いが、関連団体や企業との連携は、こうした課題を解消し、飼い主とペットが共にスムーズな避難を行うための有効な手段の一つと考える。関連団体とどのような連携ができるのか、施設利用の協力をいただく民間企業とどのような調整が必要なのか、研究検討していきたい。



公明党
山本 敏昭
やまもと としあき



子ども こどもの貧困解消法の改正について

問 改正の主な内容を聞く。

答 こどもの現在の貧困を解消するとともに、こどもの将来の貧困を防ぐことなどが基本理念に追記されたもの。

問 改正に伴う市の取組を伺う。

答 今後策定する本市の計画においても、改正法の基本理念にのっとり、こどもの貧困を解消し貧困の連鎖を断ち切るため、親の妊娠・出産期からこどもの社会的自立まで、教育や生活の安定に資する支援等を切れ目なく推進するとともに、困難な生活状況にある家庭やこどもを早期に把握し、支援につなげる体制強化に一層取り組んでいく。

問 こども食堂への支援はどうなるのか伺う。

答 国の動きや、他の自治体の動きを見ながら、財政支援についても考えていきたい。




高志会
伊藤 青波
いとう しょうは



国際 山口市のさらなる国際化に向けて！

問 本市にとって初となる英語圏の海外都市であるハワイ州ホノルル市との都市間交流や友好都市提携による波及効果について伺う。

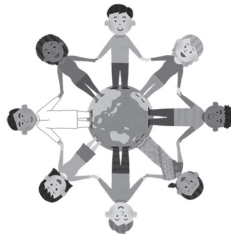
答 現在、ホノルル市の意向も踏まえ、教育、観光、文化、スポーツ、物産等の様々な分野での交流について調整を進めている。青少年の教育交流、スポーツ、観光、経済交流等、市民を中心に据えた裾野の広い交流を期待したい。

医療 不足について へき地医療の将来を担う人材育成について伺う。

答 医療関係学生が将来、本市の地域医療に従事したいと志すきっかけをつくるため、引き続き山口県立総合医療センターや関係機関と連携し、やまぐち地域医療セミナーの実施に取り組んでいく。

問 本市にとって初となる英語圏の海外都市であるハワイ州ホノルル市との都市間交流や友好都市提携による波及効果について伺う。

答 現在、ホノルル市の意向も踏まえ、教育、観光、文化、スポーツ、物産等の様々な分野での交流について調整を進めている。青少年の教育交流、スポーツ、観光、経済交流等、市民を中心に据えた裾野の広い交流を期待したい。




未来志行山口
大來 尚順

おおぞ なおゆき



教育 学校のトイレピカピカ計画で洋式化を早急に



井関小学校の男子トイレ

問 公立小・中学校のトイレの洋式化率は、全国は68%、市は52%で遅れている。国は洋式化率95%を目標に、有利な国庫補助事業により、トイレの洋式化を推進している。防府市では、令和7年度までに市立小・中学校の屋内トイレを全て洋式化するとして工事を進めている。学校トイレ洋式化の個別計画を策定し早急に進めるべきだ。

答 第二次山口市総合計画後期基本計画において、小・中学校のトイレの洋式化率を令和9年度までに60%とする目標を掲げているが、3年ごとの実施計画で、行政需要に応じて柔軟に対応できるように議論をしたい。



日本共産党
尾上 頼子

おのうえ よりこ



農業 中小規模農家への支援対策の充実は

●その他の質問
○農業用水路の整備について



問 市内農業者の65%を占める中小規模農家への支援は本市の農業振興にとって重要と思うが、来年度の予算編成を控え、どのような考え方で中小規模農家支援を進めていくのか伺う。

答 高齢化によって小規模農家が減少していく中、国は農用地を大規模農家へ集積して生産量を確保していく方針だが、本市としては、その間、小規模農家もしっかり支えていくことを考えている。予算との兼ね合いもあるが、現実的な必要性に沿った対応とすべきと考える。小規模農家の支援については、農家の皆様の実態や他市町の事例等も踏まえ、再度しっかりと検討し応援したい。



県都創生山口
野島 義正

のしま よしまさ



交通 通学路などの安全安心について！



白いラインが薄くなっている
カラー化された横断歩道

問 通学路などを中心に、横断歩道や路側帯の鮮明化を進められている。今後の市の取組の方向性と関連機関との連携について伺う。

答 横断歩道等のカラー化については、車両の通過速度が速く信号がない箇所を優先的に、交通量や通学路であるかなどを総合的に勘案しながら、順次整備していく。カラー化については、夕方や雨天時に舗装路面の黒色に対する視認性が高く、スクールゾーンを想起させる緑色を採用する。また、白ラインが薄くなっているところは、警察とも協議を行い、可能な限り同時に整備できるよう連携していく。



やまぐち有隣会
植野 伸一

うえの しんいち



水産 担い手の育成・定着と海洋保全による漁業振興!

○その他の質問
・地域障がい者福祉の進展について
・地域医療の存続について



山口みなみこども園の稚魚放流
「大きくなあれ!」

問 山口市における今後の漁業振興について伺う。
答 今後、中学校や高校でのキャリア教育を活用した就業に関する情報発信や6次産業化に向けた起業創業支援の取組など、漁業を職業の選択肢の一つとしてもらえるよう漁協や関係部局と連携しながら検討する。また、海洋環境の保全に向け、改正瀬戸内海環境保全特別措置法による栄養塩類の濃度や量を調整した処理水の下水処理場等からの海洋放流について、県や関係者と調整しながら検討していく。

やまぐち有隣会
中野 光昭
なかの てるあき

医療 こども医療費助成を10月から高校生世代まで拡大

(市公式ウェブサイト)
こども医療費助成制度



問 昨年の12月議会において、高校生世代の医療費無償化について一般質問を行った。市は、本年10月1日から、こども医療費助成の対象を高校生世代の18歳まで拡大するとされたが、申請への対応と、本取組が本市の魅力向上に寄与するか市の所見を伺う。
答 本年10月からこども医療費助成の対象を高校生世代まで拡大し、福祉医療費受給者証交付申請書による申請受付を開始した。今後は、未申請者に勧奨通知を送付するとともに、医療機関と連携し制度の周知を図る。こども医療費助成制度の拡充により、経済的負担の軽減と子育て環境の充実が図られることから、速やかな実施を目指してきた。多くの子育て世代から更に選ばれるまちとして、本市の魅力向上に寄与すると考える。

高志会
伊藤 斉
いとう ひとし

産業 DXの推進について

答 DXの推進に向けた取組として、セミナーの開催やデジタル機器等の導入支援を行ってきた。市内企業の人手不足解消へのDX促進はこれからで、リスキリングによる人材の創出が一層重要になると考える。企業内部の人材育成が図られることで、人手不足の解消につながられるよう支援の在り方を検討したい。

問 企業におけるDXの推進は、生産性の向上や業務効率化を図る上で重要であり、デジタル技術の導入により業務の自動化等が図られ、人件費等の削減が期待される。国はこのような社会の変化に対応するため、デジタル人材の育成、特にリスキリングに注力している。人材不足に悩む市内企業にとつてリスキリングの導入は合理的な手法と考えるが、市の所見を伺う。

リスキリング
リスキリングとは企業のDX戦略において、新たに必要となる業務・職種に順応できるように、従業員がスキルや知識を再習得すること

未来志行山口
馬越 帝介
まこし たいすけ

教育 神話を教えない民族は滅びる?学校での神話教育

答 中学校学習指導要領において、古事記、日本書紀、風土記の神話伝承などの学習を通して当時の人々の信仰やものの見方などに気づかせるよう留意することが示されている。その指導要領にのっとり、学習を行っている。



問 戦後、GHQは日本の精神を骨抜きにするために神話を教えることを禁止した。また、戦時ナショナリズムを高揚するために神話が利用されたという戦後史観から、学校現場では神話が消え、タブーとなってしまう。歴史考古学者トインビーは世界中の民族の歴史を調べ上げた結果、13歳までに国の神話を教えない民族は100年以内に例外なく滅びるという言葉を残している。そうしたことから、学校において神話を教えるべきだと考えるが、現状をお尋ねする。

市民クラブ
部谷 翔大
へや しょうた

福祉 障がい者には災害弱者としての視点を念頭に

問 市南部地域の沿岸部が南海トラフ地震による5mの津波の災害リスクが予想される中、①障がい者の避難時の初動対応、②福祉避難所の確保、③被災後の障がい者の生活再建に向けた取組を伺う。

答 ①今年度から、福祉避難所へ避難する方のタイムラインを作成・管理する機能を取り入れ、災害時の行動をあらかじめ決めることで迅速な避難行動へつなげる。②今年度中の福祉避難所の指定に向けて、介護福祉事業者等と協議中である。③障がい者に特化した生活再建制度はないが、障がい種別等、個々の事情に配慮した支援が必要と考えるので、先進自治体等の情報収集や、既存の支援制度の拡充等、生活再建支援の在り方を検討した。



未来志行山口
坂井 芳浩



協働 自治会活動の支援策・電子回覧板の導入支援

問 活動の担い手を確保・育成することに課題を感じている自治会があるが、その活動の持続に向けた支援策について尋ねる。また、地域のつながり、情報共有に役立つ電子回覧板の導入支援の取組状況について伺う。

答 地域課題の共有と解決のため、自治会長情報交換会を開催し、その内容を市ウェブサイトに掲載している。また、活動を支える財政支援として、幅広い活動に使える自治会等自治振興交付金を交付している。今年度から自治会活動のデジタル化のモデル事業として、電子回覧板等の導入支援に取り組み、その成果を取りまとめて、全ての自治会に情報提供する。



●その他の質問

○第2期山口県央連携都市圏域ビジョンについて



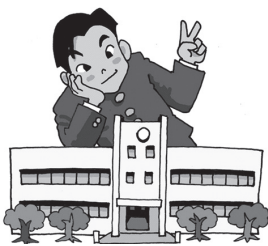
やまぐち有隣会
山本 浩二



行政 子どもの居場所づくり!公共施設の有効活用!

問 子どもの居場所づくりとしての山口市産業交流拠点施設KDDI維新ホールの有効活用について所見を伺う。

答 現在、パブリックスペースは一時的な待機・休憩場所として、産業交流スペースメグリバ内のコミュニティラウンジはセミナー等の開催がない場合に誰でも利用できる場所として開放している。また、アカデミーハウスの認知度向上を図るため、試行的に、入居者の活動がない時間帯に限り、高校生や大学生を対象に活動室を自習室として開放している。施設本来の目的を妨げないよう配慮しながら、指定管理者とも協議し、周知方法も含め検討していく。



●その他の質問

○子育て支援策
○学校図書館の充実
○高齢者等就労支援



公明党
栗林 正



農業 山口農業振興地域整備計画の見直し

問 農業振興地域整備計画は、おおむね5年ごとの基礎調査の結果や情勢の変化により見直すこととされている。今回の見直しの基準、農地の地権者や地域の意向の反映など、現在の進捗状況を伺う。

答 国が示すガイドラインに沿って令和元年度から見直しを実施しているが、既に山林原野化している農地や地権者等からの除外要望により、最終的な農用地区域の面積は約400ha減少する見込みである。現在、基礎調査と計画変更の内容について県と協議を重ねているが、協議を経て変更計画案を確定した後、関係団体への意見聴取を行った上で告示及び縦覧を実施し、今年度末に整備計画確定の公告を行う。見直し後も農用地区域の農用地を守り、本市農業の健全な発展を図っていく。



県都創生山口
野村 幹男



行政

満足度を上げながら経費は削減できる！

問

本市の小中学校のプール設置率は全国と比較して極めて高い。プールは利用できる期間が短い、近年、熱中症リスクを考えると授業回数も減少傾向にある。このような低稼働率で満足度の低い施設に高いコストをかけるより、給食費の負担軽減や他施設の充実に充てる方が良い。プールの集約化を図り、水泳授業の確保と安全性の向上、コスト削減に取り組むべきではないか。

答

今後は、持続可能な水泳授業の実施、既存ストックの有効活用、整備維持管理コストの低減を基本に取り組み、老朽化対策に係るコストの削減に向け、近隣学校のプールの共同利用、民間施設等の利用の可能性を検討したい。



●その他の質問

○空き家・空き地バンク制度の民業への転換



やまぐち有隣会
野村 雄太郎



観光

学生の強みを生かし観光振興を盛り上げよう！

問

今年7月に山口大学経済学部で、本市の観光課題に関する政策プレゼン発表会が開催された。今後の観光における学生の活力を生かした連携事業の可能性について問う。

答

学生ならではの視点で観光分野の多岐にわたる熱意あふれる提案だった。本市には複数の大学が立地し、多くの学生が居住している利点を生かし、大学や関係局との連携を図りながら、学生のフィールドワークの提供や具体的な取組を検討し、今後の本市の観光政策に生かしていきたい。



問

こうした大学連携の取組の今後の展望を問う。

答

持続的なまちづくりには若者を含めて市民の皆様が活躍できる体制を整えていく必要がある。長期的に取り組んでいきたい。



未来志行山口
安河内 淳朗



防災

排水ポンプ設備

問

新しく購入した排水ポンプの稼働状況等を尋ねる。内水氾濫対策を強化するため、通常の仮設ポンプの約4倍の排水能力を有する移動式排水ポンプを4台導入し、大内・平川・大歳・小郡地域で梅雨の大雨時に排水作業を行った。この排水ポンプは排水能力が高く、安全性や即応性に優れ、単独で排水可能なことから、様々な水害現場で緊急対応が可能である。

答

家族経営農家の機械の維持管理経費への助成金制度

問

家族経営農家の機械の維持管理経費等について助成金制度を創設できないか。

答

農業機械のメンテナンス費用については現在補助対象とはしていないが、引き続き農業者の皆様の経営実態や他市の事例等を参考にしながら研究、検討していきたい。



県都創生山口
瀧川 勉



交通

交通弱者の利便性を高める公共交通政策を！

問

高齢者等の外出を支援するグループタクシースの利用促進策の実施を提案するが、市の所見はどうか。

答

市独自の制度であるグループタクシースの利用券一枚当たりの金額引上げには慎重な検討を要するが、利用時の距離要件の緩和と対象年齢の引下げは検討を進めたい。

産業

省人化・省力化への取組

問

中小企業の人手不足解消に向けた市の支援策について伺う。

答

市が本年度創設した省人化・省力化機器等導入支援補助金は予算額に到達して募集を終了したが、この補助金の継続要望もあることから、事業者が人手不足への対応として省人化・省力化に取り組む際に、より効果の高い支援策を引き続き検討していく。

(市公式ウェブサイト)
山口市シニア生活
応援サイト



未来志行山口
楊山 俊哉



議会からのお知らせ

先進地に学ぶ 視察報告

詳しくは、二次元コードからご覧ください。



●愛知県一宮市

新本庁舎における議事運営の参考とするため、本会議・委員会の運営について行政視察を行いました。



●岐阜県高山市

本会議・委員会の運営と委員会活動を中心とした政策形成サイクルの取組について行政視察を行いました。

7/16～18 議会運営委員会



●大阪府八尾市

本会議・委員会の運営と常任委員会の所管事務調査や高校生・大学生を対象とした取組等について行政視察を行いました。

各議会の事例を今後の本市議会の活性化と充実に向けた取組に生かしていきます。

第25回山口県市議会議員研修会に参加しました



8月9日（金）に第25回山口県市議会議員研修会が開催され、オンラインで参加しました。

早稲田大学政治経済学術院の稲継裕昭教授を講師として、自治体DXの取組と、DX時代の市議会の在り方についての講義がありました。

研修会で学んだことを本会議や議員活動に反映していけるよう、気持ちを新たにしました。

「山口市議会活性化充実協議会」を設置

この協議会は、議会基本条例に掲げる分権時代にふさわしい議会を実現するため、議会及び議員の活動の活性化と充実に関する協議を行うことを目的とし、議長の諮問機関として設置しました。議会基本条例の目的が達成されているかどうか不断の検証を行うため、常設設置したものです。



会 長	原 真也
副会長	其原義信
委 員	坂井芳浩
	米本太郎
	山本浩二
	中野光昭
	野島義正
	有田 敦
	山見敏雄
	尾上頼子

議会の主な動き



7月

- 1日 執行部説明会、会派代表者会議
- 8日 会派代表者会議、議会運営委員会、市議会だより等編集委員会(以下、「編集委員会」)
- 16日 議会運営委員会行政視察(～18日)
- 19日 編集委員会
- 24日 全国市議会議長会基地協議会中国・四国部会定期総会(～25日)

8月

- 5日 議会運営委員会
- 9日 会派代表者会議、山口県市議会議員研修会
- 28日 広報広聴委員会

9月

- 2日 議会運営委員会、会派代表者会議、執行部説明会
- 9日 第4回定例会初日(～10月10日最終日)、議会運営委員会
- 10日 議会運営委員会、会派代表者会議
- 17日 編集委員会、会派代表者会議
- 19日 議会運営委員会
- 20日 議会運営委員会
- 26日 山口市議会活性化充実協議会

10月

- 4日 議会運営委員会
- 8日 広報広聴委員会、編集委員会
- 10日 議会運営委員会

おいでまや山口へ(行政視察の受け入れ)

全国各地から行政視察にお越しいただきました。

▼受け入れ団体(7月～9月)11団体

- 7月 3日 山口県宇部市議会、山口県下関市議会
- 7月 9日 山口県山陽小野田市議会
- 7月11日 兵庫県豊岡市議会
- 7月12日 千葉県鎌ヶ谷市議会
- 7月25日 新潟県新潟市議会
- 7月25日 大阪府堺市議会
- 7月29日 東京都大田区議会
- 7月30日 長野県佐久市議会
- 7月31日 栃木県佐野市議会
- 8月20日 長崎県長崎市議会

行政視察を通じ、本市の取組や魅力をPRしていきます。

編集後記

令和5年度決算審査を含む諸議案が提出された9月定例会。次年度の予算や事業展開に反映させるべく、各議員の知見を生かした議論が交わされました。ぜひ市議会だより、市議会ホームページ、インターネット録画中継等併せて活用いただき、議会に対する様々な御意見を頂戴したいです。(中野)

次回定例会日程のお知らせ

(予定)

陳情の受付…11月20日(水)まで 請願の受付…11月27日(水)まで

日	月	火	水	木	金	土
12/1	2	3	4	5	6	7
	本会議 (初日) 10:00～					
8	9	10	11	12	13	14
	本会議 10:00～	10:00～17:00 ケーブルで生中継 (一般質問・質疑)		本会議終了後 予算決算 委員会		
15	16	17	18	19	20	21
	教育民生 委員会 生活環境 委員会 10:00～	総務 委員会 農林建設 委員会 10:00～		予算決算 委員会 10:00～		
22	23	24	25	26	27	28
	本会議 (最終日) 10:00～					

会議日は傍聴ができます。

議会の内容をウェブでご覧いただけます

- 山口市議会ホームページ
<https://www.city.yamaguchi.lg.jp/site/gikai/>



- インターネット録画中継
<https://cstream.c-able.ne.jp/yamaguchi-gikai/m/>



ご感想をお寄せください

議会や市議会だより、ホームページ等をご覧になったご感想やご意見をお寄せください。

住 所：〒753-8650 山口市亀山町2番1号
電 話：083-934-2854 / FAX：083-934-2658
メール：gikai@city.yamaguchi.lg.jp
あて先：山口市議会事務局「議会の感想」宛て

【表紙写真】

九州から関東圏まで多くの方々が参加されたツール・ド・ヤマグチ湾での一枚です。節目の10回目となる今回の開催で一区切りとなりました。山口市周辺部の魅力にあふれる風景や特産物を体感、発信できる仕組みづくりを議会としても提言していきます。

市議会だより等編集委員会

委員長 大田たける 副委員長 中野光昭
委 員 鳥養祐矢・安河内淳朗・米本太郎・植野伸一
倉増賢治・山本敏昭・有田 敦・部谷翔大

次号は2月1日発行です